

平成26年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社シーエスロジネット
 コード番号 2710 URL <http://www.indis.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金岡正光
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 金岡昭光
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 052-354-7797

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	10,666	19.2	44		5		26	
25年3月期第3四半期	13,202	17.1	17		2		49	

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 15百万円 (%) 25年3月期第3四半期 62百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	5.62	
25年3月期第3四半期	10.52	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	7,376	3,680	49.9	776.84
25年3月期	8,193	3,695	45.1	779.98

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 3,680百万円 25年3月期 3,695百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期		0.00		0.00	0.00
26年3月期		0.00			
26年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,600	18.6	105		60		40		8.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)
期末自己株式数
期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	5,257,950 株	25年3月期	5,257,950 株
26年3月期3Q	520,346 株	25年3月期	520,346 株
26年3月期3Q	4,737,604 株	25年3月期3Q	4,737,604 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「添付資料」P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安や株高の影響等を受け景気は緩やかに回復しつつあるものの、海外景気の下振れ懸念など景気の押し下げ要因も依然として存在しており、雇用情勢の回復に伴う個人消費の改善や消費税の引き上げに伴う駆け込み需要により一部の高額商品は伸びているものの、市場全体としては厳しい状況で推移しました。

当社グループの事業領域のうち、映像ソフト市場におきましては、映画市場では宮崎駿のアニメ「風立ちぬ」が興行収入100億円を越すヒットとなり、映画興業収入は前年比99.5%と堅調に推移しましたが、パッケージソフト市場ではDVDからブルーレイディスクへのシフトが進まず、厳しい状況で推移しました。

音楽ソフト市場におきましては、レコードメーカーの生産高が前年度（平成24年1月～12月）に減少から増加に転じ、回復の兆しが見えたものの、今年度（平成25年1月～12月）はアルバムで100万枚を越すヒット作がなかったことなどから再び減少に転じ、厳しい状況が続きました。

コンシューマーゲーム市場におきましては、iPhone、スマートフォン等の普及に伴う携帯端末向けの配信型のゲームソフトの台頭に加え、新型ゲーム機の発売を間近に控え既存機種の上売が頭打ちとなり、ゲーム機本体とともにパッケージソフトの販売市場も厳しい状況で推移しました。

このような環境のもと、映像ソフト市場におけるシェアの確保と売上総利益率の改善に加え、グループ全体の業務効率の向上による経費の削減に努めてまいりましたが、映像ソフト、音楽ソフト及びコンシューマーゲームの売上高が前年同期と比較して大幅に減少したことにより、利益面ともに厳しい結果となりました。なお、グループ全体の業務効率の向上策として平成25年4月1日付で連結子会社の株式会社ハブ・ア・グッドを吸収合併し、経営資源の集中と業務の見直しによる業務効率の向上を進めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高が10,666百万円と前年同期比で19.2%減少しました。業務の見直しにより経費も一部削減しているものの、売上高の減少に伴う売上総利益の減少を補うまでには至らず、営業損失は44百万円（前年同期は17百万円の営業損失）、経常損失は5百万円（前年同期は2百万円の経常損失）となり、四半期純損失は26百万円（前年同期は49百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

卸売事業

a. 音楽映像ソフト

当部門の売上高は、映像ソフトにおいては、販売用DVDは比較的堅調に推移したものの、レンタル用DVDにおいては、レンタル店におけるレンタル料金の低価格化による店舗収益の圧迫などから、仕入予算の縮小の影響を受け減少しました。また、音楽ソフトにおいては、ヒット作の不足からCDアルバムの売上が伸びず、前期比23.0%減の7,599百万円となりました。

b. コンシューマーゲーム

当部門の売上高は、ゲームソフトにおいてヒット作が少なかったことと、既存のゲーム機本体の売上が減少し、前期比12.0%減の1,365百万円となりました。

c. 関連商品

当部門の売上高は、CD-R、DVD-R等の既存商品の売上高が減少傾向にあるなか、バラエティグッズをはじめとした、新たな商材の販売を強化したものの、既存商品の売上高の減少を補うまでには至らず、前期比11.6%減の400百万円となりました。

d. その他

当部門の売上高は、レンタル店を対象とした当社オリジナルサービス「CSR（Customer Stock or Return）」の導入を推し進めた結果、前期比34.9%増の686百万円となりました。

以上により、卸売事業全体の売上高は、前期比18.9%減の10,052百万円となりました。

小売事業

当部門の売上高は、当社直営店のうち不採算店を閉店したことと、既存店の売上高の減少の影響を受け、前期比24.6%減の614百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結累計期間末における総資産は7,376百万円となり、前連結会計年度末に比べ817百万円の減少となりました。また、純資産の残高は3,680百万円となり、15百万円の減少となりました。

(資産)

流動資産においては、前連結会計年度末に比べ610百万円減少した4,087百万円となりました。減少の主な要因は、受取手形及び売掛金が151百万円増加しているものの、たな卸資産が800百万円減少したことによるものです。

固定資産においては、前連結会計年度末に比べ207百万円減少した3,288百万円となりました。減少の主な要因は、仕入保証金の返還に伴う減少によるものです。

(負債)

流動負債においては、前連結会計年度末に比べ667百万円減少した2,844百万円となりました。減少の主な要因は、支払手形及び買掛金と短期借入金の減少によるものです。

固定負債においては、前連結会計年度末に比べ135百万円減少した850百万円となりました。減少の主な要因は、長期借入金の返済に伴う減少によるものです。

(純資産)

純資産においては、前連結会計年度末に比べ15百万円減少した3,680百万円となりました。減少の主な要因は、四半期純損失を計上したことに伴う利益剰余金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年2月6日に公表しました数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第3四半期連結累計期間において、(株)ハブ・ア・グッドは当社との合併により消滅会社となったため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	837,010	912,282
受取手形及び売掛金	1,764,817	1,915,882
有価証券	377	461
たな卸資産	1,908,896	1,108,367
その他	206,672	168,717
貸倒引当金	20,449	18,469
流動資産合計	4,697,325	4,087,241
固定資産		
有形固定資産	687,967	677,526
無形固定資産	185,816	127,420
投資その他の資産		
投資有価証券	970,853	963,992
敷金及び保証金	971,198	824,781
その他	681,249	697,772
貸倒引当金	431	2,636
投資その他の資産合計	2,622,869	2,483,909
固定資産合計	3,496,653	3,288,856
資産合計	8,193,979	7,376,097
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,792,061	2,231,496
短期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	53,933	7,544
賞与引当金	59,476	27,112
その他	406,937	378,843
流動負債合計	3,512,409	2,844,996
固定負債		
社債	113,600	84,800
長期借入金	396,532	292,986
役員退職慰労引当金	308,452	317,956
その他	167,554	155,024
固定負債合計	986,139	850,766
負債合計	4,498,548	3,695,762
純資産の部		
株主資本		
資本金	598,510	598,510
資本剰余金	545,000	545,000
利益剰余金	2,884,184	2,857,543
自己株式	142,231	142,231
株主資本合計	3,885,464	3,858,823
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,610	63,339
土地再評価差額金	241,827	241,827
その他の包括利益累計額合計	190,217	178,488
少数株主持分	184	-
純資産合計	3,695,431	3,680,335
負債純資産合計	8,193,979	7,376,097

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 3 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 12 月 31 日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成 25 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 12 月 31 日)
売上高	13,202,499	10,666,725
売上原価	11,714,905	9,447,492
売上総利益	1,487,593	1,219,232
販売費及び一般管理費	1,504,595	1,264,208
営業損失 ()	17,001	44,976
営業外収益		
受取利息	2,766	3,653
有価証券売却益	-	16,362
為替差益	4,721	10,036
受取手数料	7,067	5,403
その他	9,862	11,991
営業外収益合計	24,417	47,447
営業外費用		
支払利息	8,051	5,779
支払保証料	1,924	1,714
その他	170	68
営業外費用合計	10,145	7,562
経常損失 ()	2,729	5,091
特別利益		
保険解約返戻金	2,292	3,687
特別利益合計	2,292	3,687
特別損失		
固定資産除却損	36	20
減損損失	230	-
投資有価証券評価損	411	-
特別損失合計	678	20
税金等調整前四半期純損失 ()	1,115	1,424
法人税、住民税及び事業税	53,086	43,290
法人税等調整額	2,032	17,889
法人税等合計	51,054	25,400
少数株主損益調整前四半期純損失 ()	52,170	26,824
少数株主損失 ()	2,337	184
四半期純損失 ()	49,832	26,640

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	52,170	26,824
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,653	11,728
その他の包括利益合計	10,653	11,728
四半期包括利益	62,824	15,096
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	60,486	14,911
少数株主に係る四半期包括利益	2,337	184

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	卸売事業 (千円)	小売事業 (千円)	合計(千円)
売上高			
外部顧客への売上高	12,387,121	815,378	13,202,499
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	12,387,121	815,378	13,202,499
セグメント利益又は損失()	358,862	108,358	250,503

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	250,503
のれんの償却額	3,058
全社費用(注)	264,447
四半期連結損益計算書の営業損失()	17,001

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	卸売事業 (千円)	小売事業 (千円)	合計(千円)
売上高			
外部顧客への売上高	10,052,125	614,599	10,666,725
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,650	6,996	8,646
計	10,053,775	621,596	10,675,371
セグメント利益又は損失()	242,356	66,518	175,838

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	175,838
セグメント間取引消去	1,350
のれんの償却額	-
全社費用(注)	222,164
四半期連結損益計算書の営業損失()	44,976

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。